



平成 29 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 C E ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 杉本 恵昭
(コード番号：4320 東証一部、札幌)
問合せ先 常務取締役管理担当 松澤好隆
(T E L . 0 1 1 - 8 6 1 - 1 6 0 0)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年11月7日付「平成28年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました平成29年9月期(平成28年10月1日～平成29年9月30日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正しますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,800	200	240	125	35 円 30 銭
今回発表予想 (B)	8,000	100	160	80	22 円 45 銭
増減額 (B - A)	△800	△100	△80	△45	
増減率 (%)	△9.1	△50.0	△33.3	△36.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	8,125	170	222	113	32 円 10 銭

2. 修正の理由

当社グループの主力製品である電子カルテシステムにおきましては、受注獲得のための競争が激化する中、積極的な販売活動により、平成 29 年 9 月期第 3 四半期連結会計期間末における受注残高は前年同期末比 163.0%と直近の受注状況は回復基調にあるものの、当初計画していた時期と比較して売上計上時期が遅れたことにより、第 3 四半期連結会計期間の売上高が低調に推移し、通期売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。

なお、上述のとおり、受注残高は前期の第 3 四半期連結会計期間末の実績を上回っており、当期の第 4 四半期連結会計期間及び翌期以降の業績向上に寄与する見込みであります。

利益面におきましては、売上高の減少により利益率が悪化したため、営業利益及び経常利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記に加えて、子会社の特別損失の計上により前回発表予想を下回りました。

特別損失の計上の内容につきましては、同日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

以上